

## 公開特許公報



(諸)

昭和48年5月8日

特許庁長官 三 地 幸 夫 殿

## 1 発明の名称

コードガイド車における安全構

## 2 発明者

住所 福岡県飯塚市大字幸賀119番地  
氏名 内田 俊基

## 3 特許出願人

住所 福岡県飯塚市大字幸賀215番地  
名称 株式会社 幸賀工作所  
代表者 青木 正夫

## 4 代理人

郵便番号 810  
住所 福岡市中央区大名2丁目3番1号  
氏名(5171)弁理士 青木 正雄

(ほか1名)

⑯ 特開昭 50-638

⑯ 公開日 昭50.(1975)1.7

⑯ 特願昭 48-50924

⑯ 出願日 昭48.(1973)5.8

審査請求 有 (全3頁)

府内整理番号

⑯ 日本分類

6249 22

89(1)E21/2

## 明細書

## 1 発明の名称

コードガイド車における安全構

## 2 特許請求の範囲

コードガイド車2においてガイドシールド3の通路5の両側に通行遮断機7、7を設け、両遮断機7、7に開動作方向に運動自在で閉動作方向に逆止装置11、12を設けた開閉構6を装着し、逆止装置操作用キー15を離脱自在に形成し、かつ上記構6が開いた際開路し、閉じた際閉路するガイドシールド移動用リミットスイッチ17を設けてなる安全構。

## 3 発明の詳細な説明

本発明はガイドシールドの通路の両側に通行遮断機を設け、両遮断機に開動作方向に運動自在で閉動作方向に逆止装置を設けた開閉構を装着し、逆止装置操作用キーを離脱自在に形成し、かつ上記構が開いた際開路し、閉じた際閉路するガイドシールド移動用リミットスイッチを設けてなるコードガイド車における安全構に関するものである。

するものである。

コードガイド車1に附設されたコードガイド車2においてコードガイド車2上の通行ができるようガイドシールド3に自動扉4を設けている。この扉4は作業性からは便利であるがガイドシールド3がコードガイド車1に向って前進後退する際に扉4は自動的に閉閉する構造になつてゐるためコードガイド車2上の通行および保全上の危険である。本発明はこの危険性を解消するためガイドシールド3の通路5の両側に開閉自在の安全構6を設け、両側の構が閉じている場合はガイドシールド3は自由に前進後退できるが片方又は両方の構6、6が開いている場合はガイドシールド3を移動し得ないインテロック構6、6から電気的にとることにより上記通行および保全上の危険性を除いたものである。

本発明を図面に示す実施例について説明すると、コードガイド車2において、ガイドシールド3の通路5の両側に通行遮断機7、7を設けるものである。両遮断機7、7はそれぞれ立柱